



株式会社ラインナップ 長良オフィス
 住所 岐阜市鷺山新町5-5
 TEL 058-214-6100



(株)ラインナップの情報はコチラから

「確実に、安全に」。 ぎふ長良川花火大会を支え続ける プロ集団、いざ地元経済の核へ

株式会社ラインナップ 長良オフィス



取締役 イベント事業部 本部長

山口 剛さん



中部イベント事業部 施工部 次長

船戸 隆二さん

夏の夜空を彩り、数万人の観客を魅了する「ぎふ長良川花火大会」。その大きな感動と確かな安全を、陰で支え続けているプロ集団が存在します。会場設営の最前線に立つ株式会社ラインナップです。同社は長良川特有のリスクに対応する徹底した管理体制と、現場で培った技術を武器に、岐阜の地域イベントや地元企業の発展を支える新たな一歩を踏み出しました。花火大会の裏側で活躍する彼らの最前線に迫ります。

笑顔を支える裏方として

各種企業イベントから大型スポーツ大会まで、会場設営の最前線に立つ株式会社ラインナップ。「裏方として、人々の笑顔につなげること」をモットーに掲げ、同社の厳しい安全基準と確かな技術力で、クライアントからの確固たる信頼を重ねてきました。

同社が深く関わるのが、岐阜の夏の風物詩である「ぎふ長良川花火大会」です。第1回大会から案内看板の設置や会場内のイス、仮設トイレの設置など、花火大会には欠かせない業務を一手に担っています。

今年4月、同社は会場の目と鼻の先である岐阜市鷺山新町に「長良オフィス」を開設しました。この新拠点には、長年現場を仕切ってきた同社ならではの明確な狙いがあります。

最前線基地としての「長良オフィス」

「花火大会会場に近い場所です。事務所を開設したかったんです」と語るのは山口さんです。以前から県内に拠点はありましたが、今回の開設最大の狙いは「徹底したリ

スクヘッジ」にあります。

長良川の特性上、急激に水位が上昇することがあります。

現在の体制になってからは幸い天候に恵まれています。過去長良川で開催されていた花火大会では急激な増水により数時間で河川敷に設置した設備の撤去を求められたことがありました。現在の大

ます。以前と同じように撤去を求められたときに、遠方から手配した搬出車両を現場に向かわせて撤去作業を迅速に対応することに不安がありました。

そのようなリスクを踏まえて今年4月に誕生したのが長良オフィスです。「現場から約15分という至近距離に構えたことで、以前は緊急対応まで小一時間かかっていましたが即座にできるようにになりました」と山口さんはメリットを強調します。資材の一時退避場所やスタッフの即座の待機場所として機能するこのオフィスは、地域の安全を守るためのまさに最前線基地なのです。

「確実・安全」な花火大会の裏側

ぎふ長良川花火大会の設営には、同社が培ってきた技術とノウハウが凝縮されています。イスの配置や仮設トイレ、会場内外の看板設置など多岐にわたりますが、最大の難所は「会場の形状」です。「他の会場と比べて敷地が非常に狭く細長いので、座席配置には特殊な設営方法が求められます。限られた空間で観客の動線を確保しつつ、最大限の収容人数を導き出すために、何度も現場に足を運び、厳密

な測量と採寸を繰り返して設計を決めています」と船戸さんは明かします。この泥臭く緻密な事前計画こそが、当日数万人の来場者を感動と安全に導く「案内図」となります。

さらに同社が大切にしているのが、地域住民との対話です。20年にわたる看板施工の経験を活かし、警察の指導を受けつつ、住民から届く細かな声を取り入れてきました。「去年ここに違法駐車があったから看板を置いてほしいといった要望に対し、毎年限られた資材の中で配置場所を微調整しています。関係者全員と膝を突き合わせて動線を作り上げていくプロセスこそが、私たちの強みであり長年の信頼の証」と語ります。

長良オフィスから始まる新たな挑戦

一発勝負の花火大会という極限状態の現場で培ったスピード感と対応力は、同社が手掛けるあらゆる日常業務の精度を高める原動力となっています。「屋外イベントの設営や撤去は常に時間との闘いです。特に急な悪天候や現場での突発的なレイアウト変更など、イレギュラーが発生した際にいかに冷静かつ迅速にリカバリーできるか、

プロとしての真価が問われます」と山口さんは分析します。

この「長良川基準」とも言えるシビアな現場対応力は、ラインナップが携わる他のイベントでも存分に本領を発揮します。例えば、天候に左右されやすい屋外催事や、限られた時間内で設営から撤去までを完遂しなければならぬ企業の周年事業や展示会などです。進行の遅れが許されない厳しいスケジュール下であっても、安全性を最優先しながら現場の状況を即座に見極めて作業員を最適配置し、最速で空間を組み上げます。予期せぬトラブルにも動じない同社の柔軟な機動力は、主催者側にとつて「何があってもイベントを無事に成功させてくれる」という絶大な安心感につながっています。

さらに、大手複合専門商社である株式会社YUASAのグループ会社となったことで、機材・備品の調達力が格段に向上しました。資材の安定確保だけでなく、デザインからレンタル備品、トラスの施工までを一括してトータルに提供できる体制を整え、顧客の予算や目的に合わせた最適解を提案しています。

「長良オフィスを開設したこと、今後は花火大会だけでなく、

岐阜市内の企業の皆様の展示会や企業案内、福利厚生イベントなどの会場設営にも携わりたいと考えています。『岐阜市内でイベントを開催するときは、ラインナップの船戸に頼めば成功する』と多くの企業様に言っていただけの存在を目指したい」と船戸さんは意気込みを語ります。

難度の高い現場を成功させてきた確かな「安心感」を武器に、ラインナップは長良オフィスという新たな足場を得て、これからも岐阜の地域経済を足元から力強く支え続けていきます。

